

前頭側頭葉変性症を学ぶ会セミナー

講演会などで話されることがほとんどない「前頭側頭葉変性症」について、話しを聞くことができます。講演くださる中坂先生は前頭側頭葉変性症の治療において、数々の実績をあげられている先生です。中坂先生の話しを聞いて、前頭側頭葉変性症について学び、介護のお役に立てて下さい。

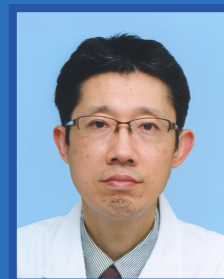
前頭側頭葉変性症をきたす様々な 病気の特徴とその対症療法

— 行動障害型前頭側頭型認知症、
意味性認知症そのほかの病気について —

講師

中坂 義邦 先生

新横浜フォレストクリニック 院長



参加費
500円

開催日: 2018年 2月25日 (日)

時間 午後2時00分～午後4時 (開場 午後1時30分)

会場 AP品川 10階 AB室
東京都港区高輪3丁目25-23 品川駅高輪口より徒歩3分

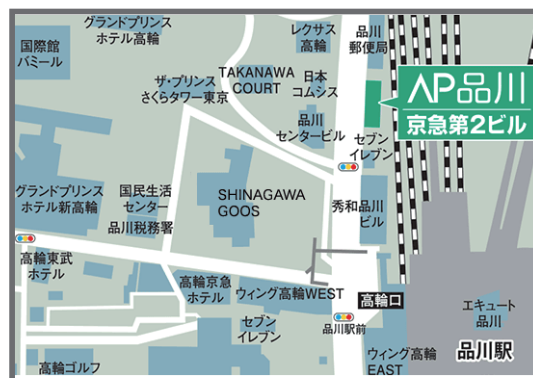
対象 前頭側頭葉変性症を知りたい方

定員 事前申込制 50名 (先着順)

締切 2018年 2月 22日 (木)
※定員に達し次第、締め切ります。

申込方法 裏面をご覧ください

地図



※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください

主催: 前頭側頭葉変性症を学ぶ会 後援: 株式会社グロービア

講師紹介

近畿大学医学部卒業後、同大学、神経内科に入局。
関連病院の勤務医などを経て、3年前に新横浜駅前で開業。内科と神経内科の外来診療をしている。
6年前に河野和彦先生（名古屋フォレストクリニック 院長）の講演を聴いて、認知症治療薬を含めてこれまでの神経系治療薬の使い方を根本的に考え直すことと、動作歩行障害のビデオ記録を含めた精密な観察の重要性を再認識。
画像診断偏重で、患者に話も聞かず、さわりもせず、不必要な薬を足すだけの多剤大量処方が主流となったここ最近の神経内科外来診療のあり方に強く疑義を感じ、問診と神経学的な診察を重視したベッドサイドの神経内科を取り戻す事と可能な限り薬害をなくす処方を診療のスローガンにして日々の診療にあたっている。

《お申込み方法》

ご参加をご希望の方は、下記に必要事項をご記入の上、メールまたはFAXのいずれかでお申し込みくださいますようお願い致します。

複数名で参加を申し込まれる場合は、代表者名および参加人数の記入をお願いします。

※メール申し込みの場合は、受付を確認したメールをお送りいたします。

〔宛先〕 前頭側頭葉変性症を学ぶ会 事務局

《 申込書 》

・メール：a-1@jj.em-net.ne.jp

※メール申し込みの場合は、以下の「お名前、電話番号、郵便番号、人数、区分、所属先名」を記して送信してください。

・FAX： 042-564-4539

フリガナ お名前 (代表者名)		郵便番号	— <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先
電話番号	— —	人数	名
※ご連絡を差し上げることがあります。日中連絡の取れる番号を記載ください。			
区分を○で囲み、家族会名、病院名、施設名などの所属先のご記入をお願いします			
区 分	・介護家族 ・介護従事者 ・介護支援専門員 ・医師 ・医療関係者 ・その他（)		
所 属			

※お預かりしました個人情報については、次回セミナーのご案内や認知症予防に役立つ情報のお知らせに利用させていただく場合がございます。